

# 中地区管内中学校部活動数

平成16年度

No.	地区	中学校名	生徒数(A)	教員数(B)	部活動数(C)	1部活動あたりの 教員数 (B)÷(C)	1部活動あたりの 生徒数 (A)÷(C)
1	平塚	江陽	445	29	15	1.93	29.7
2		太陽	309	17	13	1.31	23.8
3		春日野	393	24	16	1.50	24.6
4		浜岳	710	36	22	1.64	32.3
5		大野	667	35	17	2.06	39.2
6		神田	496	28	16	1.75	31.0
7		土沢	111	12	7	1.71	15.9
8		金旭	719	35	16	2.19	44.9
9		中原	549	25	12	2.08	45.8
10		大住	342	21	14	1.50	24.4
11		山城	618	34	17	2.00	36.4
12		神明	519	26	15	1.73	34.6
13		金目	334	17	15	1.13	22.3
14		横内	267	21	15	1.40	17.8
15		旭陵	369	23	15	1.53	24.6
16	秦野	本町	793	46	23	2.00	34.5
17		南	418	24	14	1.71	29.9
18		東	368	21	18	1.17	20.4
19		北	405	23	18	1.28	22.5
20		大根	500	27	17	1.59	29.4
21		西	709	38	22	1.73	32.2
22		南が丘	361	21	17	1.24	21.2
23		渋沢	427	24	13	1.85	32.8
24		鶴巻	422	24	16	1.50	26.4
25	伊勢原	山王	613	31	20	1.55	30.7
26		成瀬	643	32	19	1.68	33.8
27		伊勢原	813	40	19	2.11	42.8
28		中沢	435	24	17	1.41	25.6
29	大磯	大磯	388	21	20	1.05	19.4
30		国府	321	21	18	1.17	17.8
31	二宮	二宮	486	27	16	1.69	30.4
32		二宮西	344	23	18	1.28	19.1
<b>平均</b>			<b>477.9</b>	<b>26.6</b>	<b>16.6</b>	<b>1.60</b>	<b>28.9</b>

教員数：校長、教頭、事務職員、養護教諭、非常勤講師を除く

部活動数：陸上部、水泳部、文化部はそれぞれ1カウント、その他は男女別で1カウント

秦野市の部活動数は、15年度のデータ

## 【考察】

- ・いわゆる大規模校は、教員数も多く「1部活動あたりの教員数」が高めの数値を示している。（数値2以上だと複数顧問制が可能）
- ・生徒数300～400程度の中規模校は、ある時期からの生徒減少の結果であるためか、その当時から部活動の数が変わらず、「1部活動あたりの教員数」が低い数値となっている。
- ・「1部活動あたりの教員数」から見て、地区平均が仮に妥当な数値であるとする、大磯の両中学校の部活動数は大変多いということになる。
- ・地区平均を基に大磯の両中学校の妥当な部活動数を算出すると、両中学校とも21名の教員数では、13部活が妥当な数である。また、複数顧問制を実施するためには、さらに減らし10部活動が妥当である。
- ・この中で、「1部活動あたりの教員数」が最も高い「金旭中学校」は、数年前に部活動数を削減した経緯がある。
- ・「1部活動あたりの生徒数」は、全校生徒を基に算出している、これに入部率を乗じた数値がそれぞれの学校の1部活動の平均的な人数となる。
- ・大磯町の両中学校の「1部活動あたりの生徒数」に入部率（80%）を乗じると、両中学校とも1部活動あたり約15人となる。当然、部活動により人数の偏りがあるので、ある年の部活動によっては、入部者「なし」や全体でも数名程度で活動が成り立たない、という事態もありうる。